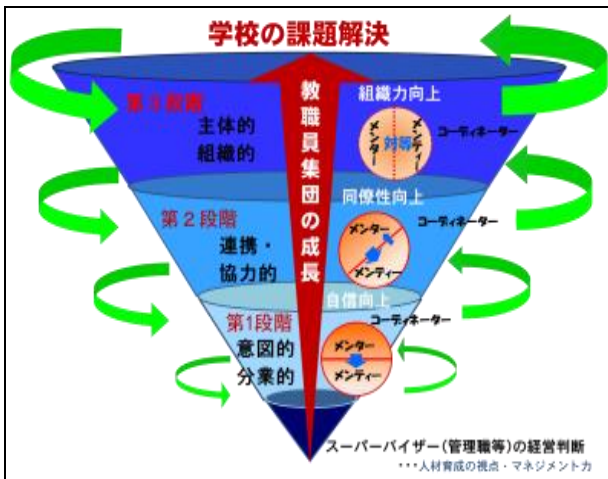
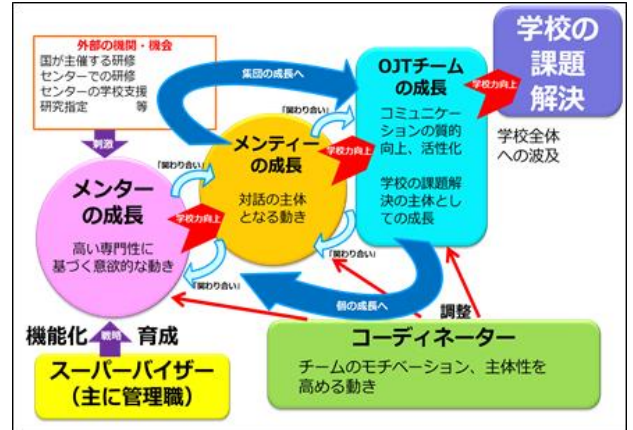


学校の課題解決に向けた校内チーム制の効果的な進め方の提案

◇組織全体の変容につながる校内チーム制

今、学校では業務を個別に行う組織から、チームとして取り組む組織への変容へと導く仕組みづくりが求められています。その一つとして活用できるのが、校内チーム制であると考えます。校内チーム制は、管理職のリーダーシップの元、メンターとメンティーの「関わり合い」が深化していく中で成長していくと考えました。

今回は、実践事例を基に学校の課題解決や組織の変容につながるプロセス等の概要について紹介します。



校内チーム制は段階的に成長します！

- 【第1段階】…管理職が意図的に位置付けてチームを組織する。
- 【第2段階】…学校の課題について日常的に話し合うことができ、メンティーが自信を付け、体験的リーダーとして活動できる。
- 【第3段階】…同僚同士が主体的に活発に「関わり合い」をもちながら組織全体で学校の課題解決に向かう。

◇「OJTガイドブック実践事例集」の刊行

～学校の課題解決に向けた校内チーム制の効果的な進め方～

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校4校の協力校の取組から見てきた効果的なアプローチの仕方について実践事例を基に現状分析を行いながらまとめました。

校内チーム制の成長段階等の詳細については、教育研究発表大会及び次号の羅針盤で紹介いたします。お楽しみに！

※事例集は発表大会で刊行します！

平成30年度岡山県総合教育センター教育研究発表大会
 日時：平成31年2月16日(土)
 10:30～15:10
 会場：岡山県総合教育センター



【バックナンバー】 <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho> (担当：教育経営部)

詳しくは発表大会へどうぞ